

特集 河童サミット鳥取に参加しました!!

河童サミットは、“河童連邦共和国”が開催する共和国最大のイベントで、年に1回、河童連邦共和国の皆さんが集い、河童への熱い想いを語りあうサミットです。

河童連邦共和国は、1988年9月に建国され、国内に42村、海外(台北)に1村、これに、大統領府や大使館がある国で、河童好きな人の集まりや、河童にゆかりの地では、行政挙げての町おこしとして村をつくり参加されているところもあるそうです。キャッチフレーズは、「水は命・河童は心」、憲法には、「ロマンとユーモアに富んだ河童心を有する国民よりなり、遊び心を発揮して河童文化の・・・」とあり、サッカー選手のアルシンドに文化勲章を贈ったとか。

ちなみに、鳥取には鳥取かっぱ村があり、以前このGET HEARTにも、特集「河童」で語って頂いた道上正規さんが村長です。



河童の石像です。この石像は、河童サミット終了後に皆生温泉の観光センターの前にある足湯に設置される予定です。

今回の河童サミット鳥取は、6月11日～12日にかけて皆生温泉で行われました。日野川に多く伝わる河童伝説、また、境港には妖怪が出現することから、近くの皆生温泉が選ばれたそうです。皆生温泉の皆生グランドホテルがその会場となったのですが、このホテルの設立当初「河童」をテーマに収集し、河童を館内に展示してあったとか…。河童と関わりの深い場所での開催でした。また、参加者は、約100名で遠くは台湾、北海道、鹿児島からの参加もありました。

サミットですが、6月11日午前中に河童神事が行われ、河童の石像にキュウリや日本酒が捧げられ始まりました。

午後からは、河童サミット本番です。ミス河童の開会宣言に始まり、斉藤大統領(共和国ですから、当然大統領がいます。)の挨拶、彦名地区環境を良くする会の向井会長による記念講演、落語家の桂小文吾師匠の河童の小話、「への河童シンポジウム」など盛りだくさんの内容で行われました。

この夜は、河童交流懇親会が開かれ、全国のかっぱ村村民によるアトラクションやゲーム、もちろん河童といえば「お酒」で懇親を深められていました。そして、万歳(クワー)三唱(河童連邦共和国の河童は、クワーと鳴くそうです。)で締



<歴史と文化に触れあう名水のふるさと>と銘打って、第19回の河童サミットは行われました。登壇されているのは、河童連邦共和国の大統領の斉藤さん。



への河童シンポジウムで語られる鳥取かっぱ村助役川中さん。河童の本質は渦。渦を巻いている様子が河童の皿ではないか。河童は、縄文人では?など、独自の河童論を語られました。



「河童のためには、三角コーナーに廃パンストが有効です。」と彦名地区環境を良くする会の向井会長



シンポジウム会場の外では、河童の額や灰皿、服などの河童グッズが販売されていました。

めくられました。

翌12日は、バスツアーがあり、日野川を遡り、楳(ゆずり)さんによる各所に伝わる河童伝説を聞きながら、日野町黒坂のカワコふれあい公園(河童のことをこの地方では、カワコと呼びます)や、河童伝説が伝えられる光明寺などを巡りました。その後、観光地を巡り河童サミットは終了しました。

このサミットを通じて、河童を思う河童連邦共和国の皆さんのパワーとユーモアを感じることが出来ました。日野川にも河童伝説がたくさんありますが、知っている方はまだまだ、少ないのではないのでしょうか。まずは地元の皆さんに、知っていただき、もう一度ふるさとの河童を愛し、また、誇れる財産として育てていくことが必要と感じました。



黒坂カワコふれあい公園は、日野町黒坂にあり、平成9年度には、手づくり故郷賞を受賞されています。かわいい河童の像があったり、水辺に近づけるようになっています。



日野川の河童伝説の位置図です。また、日野川河川事務所のホームページには、河童伝説のコーナーがあります。(http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/kappa/index.htm)



河童伝説の伝わる光明寺を見学。「光明寺近くの淵(カワコ淵)にいたずら者の河童がいました。寺の和尚さんは、河童に二度と悪さをしないよう説教し、大岩に河童の像を刻んで神通力を奪ってしまいました。河童は、像を消そうとしたがかなわず、逃げていきました。」

